平成２４年度第１回企業倫理委員会　議事概要

１．日　時　　平成２４年5月３１日（木）　１４：００～１５：５０

２．場　所　　中国電力株式会社　本社１号館１２階特別会議室

３．出席者

（委員長）	山下　　隆	会長
（副委員長）	馬場　則行	弁護士
（副委員長・幹事）	清水　希茂	副社長（ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ推進部門長）
（委　員）	今中　　亘	中國新聞社 特別顧問
	磯村　定夫	中国地域ニュービジネス協議会 常任顧問
	苅田　知英	社長
	白築　　透	中国電力労働組合執行委員長
（オブザーバー）	波若　清暉	常任監査役
（説明者）	藤井　弘昭	執行役員 ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ推進部門 ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ･ﾘｽｸ管理部長 兼．原子力強化プロジェクト専任部長
	北野　立夫	電源事業本部 専任部長（原子力）

４．議事要旨

【委員長あいさつ】

○　島根原子力発電所の安全対策に関しては，昨年来，緊急用発電機の設置や建物への浸水防止対策をはじめとした緊急安全対策等を完了させるとともに，「安全性向上への取り組みに終わりはない」「想定外は許されない」という考えのもと，免震重要棟の設置など更なる信頼性向上対策に取り組んでいるところである。一つひとつの取り組みを着実に実施し，内容を丁寧に説明することにより，地元の皆さまのご理解，ご安心につなげていきたい。

　コンプライアンスの推進については，これまでにグループ企業を含めて個別事案が発生していることを踏まえると，従来の取り組みが形式的なものになっていないか，本来の目的にかなったものとなっているかをきちんと振り返り，実効性のある施策を推し進めていくことが重要と考えている。

【１．コンプライアンス推進の取り組み状況について】

　島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況，コンプライアンス推進施策の主な実施内容について説明した後，議論を行った。

＜主な意見＞

〔島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況について〕

○　島根原子力発電所点検不備への対応については，計画に沿って着実に進んでおり，評価できる。引き続き，計画した取り組みを確実に実施していくとともに，今後，再び不適切事象が生じることのないよう，設備・機器の点検については，細かいところまで徹底して行ってほしい。

○　職場の話し合い研修において別の課の課長クラスが同席するという取り組みは，マンネリ化防止となるのはもとより，組織の垣根を取り払い，問題点を共有するという点でも意義がある。今後も研修がマンネリとならないよう工夫のうえ実施してほしい。

〔コンプライアンス推進施策の主な実施内容について〕

○　ルールの適切性確認については，各職場からの課題提起をコンプライアンス強調月間時だけでなく常時受け付けるよう見直したことによって，早期に問題点を発見して対策を講じることができるようになり，評価できる。

○　所属長業務点検において新たに実施するコンプライアンス推進役による点検結果のチェックは，点検の実効性向上を図るうえで良い取り組みである。効果を上げるためには，コンプライアンス推進役が身内意識を取り払って客観的立場から厳格に評価していくことが重要となる。

　また，点検項目の設定にあたっては，他企業・他業種の不適切事例で中国電力でもリスクとして想定されるものも取り入れてはどうか。

【２．内部通報制度の運用状況について】

平成２４年２月～４月における内部通報制度の運用状況について説明した後，議論を行った。

＜主な意見＞

○　内部通報制度については，対応が迅速に行われているなど適切に運用されている。

○　通報件数が増加しており，制度ＰＲの効果が出ていると考えられるので，今後も継続的にＰＲを行ってほしい。

（添付資料）

資　料　「コンプライアンス推進の取り組み状況について」

以　上